

岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道呉平谷線(上二河工区)道路改良事業に伴う業務委託(橋梁詳細設計(PC))

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	R1-B-8 (P6R)	調査位置	広島県呉市上二河町地内	北緯	34° 16' 3.25"
発注機関	広島県西部建設事務所 呉支所	調査期間	2019年 12月 18日 ~ 2019年 12月 25日	東経	132° 33' 36.80"
調査業者名		主任技師		現代場代理人	
孔口標高	T.P. 57.44m	角	180° 上下 90° 0°	コ	ア
総削孔長	19.00m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	コ	ア
		地盤勾配	水平0° 鉛直90° 34'	コ	ア
		試験機	YBM-05	コ	ア
		エンジン	ヤンマー NFD9-K	ポンプ	KYORITZ HP173

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色	風化の程度	硬質の軟化	割れ目の状態	岩の等級	コア採取率 最大コア長 R Q D	地質時代名	記	ルジオン標準貫入試験		室内位置試験	削孔状況				
											N値	ルジオン値		削孔速度 (cm/h)	回転数 (rpm)	送水量 (L/min)	排水量 (L/min)	
53.34	4.10	崖堆積物(砂礫)	灰褐					0-100		礫はφ2~30mm程度の亜角礫主体で、コア長5cm程度の玉石が1~2個/m程度混入する。隙間は細粒分を含む中砂・粗砂にて充填される。GL-1.5m付近、層厚0.2m程度旧表土。不均質な状態。	1.15 1.45 2.15 2.45 3.15 3.45 4.10		300	1.0	80	0		
51.14	6.30	強風化花崗岩	白灰	w3	h1	C	IV	c	D	有色鉄物が3~4割程度を有し、全体的に多亀裂な状態。縦・横亀裂が多く、コアは概ね45cm以下の角礫~短棒状を呈する。亀裂面に沿って褐色化が見られ、所によって砂状化の進行が認められる。	4.18 5.00 5.08	12/21 5.46	71	0.6	150	0.1	4	
		花崗岩	灰?白灰	w2	h1	B	III	b	CH	有色鉄物が40~60%程度を有する状態で、色調にムラがある。コアは主として10~20cm程度の棒状で採取され、ハンマーの打撃で金属音を発し非常に硬い。深部まで節理面に沿って一部褐色化が見られる。節理は概ね10~20cm程度の間隔で発達する。GL-8.2m、-8.6m、-11.5m、-12.3m付近、砂状化した亀裂面が分布する。GL-15.0m以深、白灰色を呈し非常に新鮮な状態となる。	6.18 7.00 8.00 9.00 10.00	12/23 6.30	109	1.0	180			
38.44	19.00												12/21	188	1.0	180		
														176	1.0	180		
														188	1.0	180		
														171	1.0	180		
														181	1.0	180		
														150	1.0	180		
														176	1.0	180		
														171	1.0	180		